



Beyond KUSS , 2024 !!



三者面談、接近中

今日7月13日(木)、神戸大学出光佐三記念六甲台講堂での発表会です。10回生の代表8名が発表します。10回生全員が最高の聴衆となり、「あこがれの先輩」としての存在をアピールしてください。今回は、5年生と4年生の2学年が六甲台講堂での聴衆に加わりま。また、3年生以下もリモートで参加します。10回生の力を信じたいです。

来週18日(火)から本格的に三者面談が始まります。今回の三者面談で確認する主な内容は、「第1志望」の確認です。表明している「第1志望」があなたにとってふさわしいものかどうかを確認します。生徒・保護者・学校の三者がふさわしいと意見が一致するのが理想です。自分がなぜその大学・学部・学科を目指しているか、保護者や担任に説明できるでしょうか。説明できない場合、「第1志望」設定は赤信号です。

「第1志望」設定ができた人は、「第1志望」突破に向けて、どのような学習計画、出願計画を考えているかの確認です。これまでもお知らせしていますが、受験学力に関する現状把握が必要です。そして、不十分な科目・分野の徹底復習。各科目の基礎・基本を強化し、受験の基礎体力(学力)を強固なものにすることが、夏季休業終了までの目標です。それが十分でない人は、共通テストの自己採点結果によって右往左往する可能性が高くなり、冷静な出願が困難になります。

学習計画の方向性が固まったら、出願計画です。一般選抜に絞るのか、それとも特別選抜(総合型選抜、学校推薦型選抜)にもチャレンジするのか。特別選抜への出願を検討する場合、夏季休業中、卒業研究を出願書類の様式に合わせて修正することをはじめ、出願に向けての準備のための時間が必要になることを理解しておく必要があります。

「志望力」・「出願力」、これらのベクトルを最適にするためには、各科目の基礎・基本が強固でなければいけません。共通テスト模試、中間考査、どれだけ復習していますか。どれだけ自分の苦手分野を見つけ出していますか。自分で課題を見つけ出すことができない人は、学力上昇のスピードは鈍いです。何度も言っているように、秋季・冬季に学力を伸ばすための大きなチャンスが夏季休業です。なんとなく流されて過ごしてしまい、大きな後悔がないようにしましょう。

三者面談に向け、自分の考えを整理し、家庭でも十分に話をしておきましょう。

— 保護者のみなさまへ —

本校では大学受験を通じて生徒が成長することを期待しています。受験勉強に励む苦しきだけでなく、自らの未来に向けて生徒が苦悩・葛藤する、疾風怒濤を乗り越えていく姿を成長と考えています。また、保護者のみなさまにとって、お子さまへのいろいろな思いもあると思います。三者面談の前に御家庭で十分に対話していただき、三者面談では忌憚ない情報交換を行うことができるよう、御協力のほどよろしくお願いいたします。

生徒の決断、保護者の覚悟、学校の支援、「第1志望」の設定・突破に向けて歩みを進めたいと思います。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2024 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

「K 値」を軸とした合否追跡

No_12(0622)で、「K 値」を軸とした難関国立大学の一般選抜での合否状況を紹介(再掲)し、本校の合否状況と受験産業が示すデータに差異があること、「K 値」65 以上であると神戸大学クラス以上の大学への合格可能性が出てくることを紹介しました。No_13(0629)で、共通テスト模試の採点結果について紹介しました。現段階で 60%程度の人が、「K 値」65 以上に位置しています。今後、基礎・基本の強化が進む人が増えると 70%超の人が該当することになるでしょう。

このように成績は学習を重ねることにより上昇することは可能です。しかし、「志望力」はそうではありません。大学受験は「あきらめた者マケ」の構造です。「第 1 志望」の大学を最後まで目指し、出願できる人がどれだけいるでしょうか。全国の受験生は、成績の伸び悩みを理由に、「第 1 志望」を変更していきます。これが「志望力」の衰退です。その時々々の成績により「第 1 志望」を変更する(一般には下方修正)ことが、成績の安定につながるでしょうか。残念ながらそのようにはなりません。「志望力」衰退は喪失感を生じさせやすいです。

成績に伸び悩んでいる場合、「第 1 志望」を変更するのではなく、学習方法・内容の点検が必要です。自身にとって本当に必要な学習ができているかどうかを見直す必要があります。時間と費用をかけても自身にとって必要な学習ができていなければ、その効果はほとんどありません。

自己理解を深め、過去のデータを参考に、自信をもって夏の学びを進めましょう。

省略